

CASBEE-建築(新築)2016年版

コーナンPRO 豊岡路店

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価		全体	
		評価点	重み係数	評価点	重み係数
Q 建築物の環境品質					2.8
Q1 室内環境			0.40	-	2.8
1 音環境		2.6	0.15	-	2.6
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	-	
1.2 遮音		3.0	0.40	-	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	-	
2 界壁遮音性能		-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	
1.3 吸音		1.0	0.20	-	
2 温熱環境		2.6	0.35	-	2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	
1 室温		3.0	0.50	-	
2 外皮性能		3.0	0.17	-	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.33	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	
3 光・視環境		3.0	0.25	-	3.0
3.1 星光利用		3.0	0.50	-	
1 星光率		-	-	-	
2 方位別開口		-	-	-	
3 星光利用設備		3.0	1.00	-	
3.2 グレア対策		-	-	-	
1 星光制御		-	-	-	
3.3 照度		-	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.50	-	
4 空気質環境		3.1	0.25	-	3.1
4.1 発生源対策		3.0	0.50	-	
1 化学汚染物質		3.0	1.00	-	
4.2 換気		3.5	0.30	-	
1 換気量		3.0	0.50	-	
2 自然換気性能		-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮	給気口と排気口が30m以上離れている	4.0	0.50	-	
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	
1 CO ₂ の監視		1.0	0.50	-	
2 喫煙の制御	館内禁煙	5.0	0.50	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	3.0
1 機能性		2.9	0.40	-	2.9
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	
1 広さ・収納性		-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	
1.2 心理性・快適性		2.6	0.30	-	
1 広さ感・景観	売り場の天井高H=4.5m	5.0	0.33	-	
2 リフレッシュスペース		2.0	0.33	-	
3 内装計画		1.0	0.33	-	
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30	-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制御		3.0	0.50	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	
2 免震・制震・制御性能		3.0	0.20	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	
2 外装仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	
2.4 信頼性		2.6	0.20	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	
5 通信・情報設備		2.0	0.20	-	

3	対応性・更新性		3.4	0.30	-	-	3.4
	3.1 空間のゆとり		4.6	0.30	-	-	
	1 階高のゆとり	階高5.4m	5.0	0.60	-	-	
	2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.11	4.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-	
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.5
1	生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性						3.3
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	4.0
1	建物外皮の熱負荷抑制	天井に断熱材t100 BPI=0.72	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	高効率照明(LED)器具の採用	4.2	0.50	-	-	4.2
4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価				-	-	
	4.1 モニタリング				-	-	
	4.2 運用管理体制				-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.8
1	水資源保護		3.0	0.20	-	-	3.0
	1.1 節水		3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		2.7	0.60	-	-	2.7
	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	建物の分解解体が比較的容易	4.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
	1 消火剤		-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
	3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	2.9
1	地球温暖化への配慮	太陽光発電の活用	4.0	0.33	-	-	4.0
2	地域環境への配慮		2.0	0.33	-	-	2.0
	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		1.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制	必要駐車台数の確保	4.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮		2.7	0.33	-	-	2.7
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音		3.0	0.33	-	-	
	2 振動		3.0	0.33	-	-	
	3 悪臭		3.0	0.33	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制				-	-	
	3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		1.6	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70	-	-	
	2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE-建築(新築)2016年版

コーナンPRO亀岡橋店

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	4.0	-	-	○	-	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0	-	-	-	-	-	○	○	-	○	-	-	○	-	-
2.4.1 空調・換気設備	1.0	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	1.0	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	4.0	-	1.0	-	1.0	-	-	-	1.0	-	1.0	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0	-	2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0	-	-	1.0	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	3.0	-	2.0	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 給排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 軽体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	3.0	-	-	-	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0	-	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
主な指標															
Q1 室内環境															
2.1.3 外皮性能															
窓システムSC - 窓の日射熱取得率(η) -															
U値(W/m2K) 窓システム - 屋根 - 外壁 - 床 -															
住戸部分 窓システムU値 - 外皮UA値 - ηAC - ηAH -															
3.1.1 昼光率 0.0%															
4.2.2 自然換気性能 自然換気有効開口面積率 0.0%															
Q2 サービス性能															
1.1.1 広さ・収納性 執務スペース .0mf /人 病床 .0mf /床 シングル .0mf ツイン .0mf															
1.1.2 高度情報通信設備対応 コンセント容量 0.0 VA/mf															
1.2.1 広さ感・景観 天井高 0 m															
1.2.2 リフレッシュスペース リフレッシュスペース 0.5% レストスペース 2.0%															
2.2.1 軽体材料の耐用年数 想定耐用年数 0 年															
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔 想定必要間隔 0 年															
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 想定必要間隔 0 年															
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔 想定必要間隔 0 年															
3.1.1 階高のゆとり 階高 3.6 m															
3.1.2 空間の形状・自由さ 壁長さ比率 10.8%															
3.2 荷重のゆとり 床荷重 2900 N/m2															
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出 外積緑化指数 11% 建物緑化指数 0%															
3.2 敷地内温熱環境の向上 空地率 0% 水平投影面積率 0% 地表面対積面積率 8% 舗装面積率 68%															
LR1 エネルギー															
1 建物外皮の熱負荷抑制 BPI/BPI _m 0.72 断熱等性能等級 等級2 相当															
2 自然エネルギー利用 自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年mf 採光を満たす窓面積 0.0% 採光を満たす住戸数 0.0%															
3 設備システムの高効率化 通風を満たす窓面積 0.0% 通風を満たす住戸数 0.0%															
LR2 資源・マテリアル															
1.2.1 雨水利用システム導入の有無 BPI/BPI _m 非住宅 0.74 住宅 - 太陽光 5.0kW 太陽熱等 .0kW 蓄電池 .0kW															
2.4 軽体材料以外におけるリサイクル材の使用 雨水利用率 0.0%															
2.5 持続可能な森林から産出された木材 特定調達品目 - エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -															
3.2.1 消火剤 使用比率 0.0%															
3.2.2 発泡剤(断熱材等) オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)															
3.2.3 冷媒 オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)															
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善 見付面積比 243% 隣接間隔係数R _w -															
地表面対積面積率 6.0% 屋根面対積面積率 0.0% 外壁面対積面積率 0.0%															
見付面積S _b 30mf 卓越風向と直交する最大敷地幅W _a 30 m 基準高さH _b 30 m															
緑地 759mf 水面 mf 保水性対策面積 mf 高反射対策面積 mf 再帰性反射対策面積 mf															